

# 和歌山北高等学校（北校舎）

実施日時	下記詳細参照
参加者	4回分合計 生徒 858名、教職員 43名、PTA 役員 4名 総計905名
実施内容	下記詳細参照

## 実施日時/参加者/実施内容 詳細

### ●第1回

平成30年4月13日（金）10時55分～11時40分

1年生7クラス 281名 職員 14名

#### ・実施内容

- (1) 校内の避難経路の確認  
各教室より先頭に担任、最後尾に副担任がつき、校内避難経路図に従って、グラウンドに集合。
- (2) 校外避難場所（平井中央公園）までの避難経路を確認。（体育館1階剣道場）  
あらかじめ、経路を撮影したビデオを使用し、生徒に説明。

### ●第2回

平成30年7月18日（水）・19日（木）

1年生7クラス 281名 職員 8名

#### ・実施内容

- 「犠牲者”ゼロ”をめざして」鑑賞及び防災に関する情報の伝達。  
（視聴覚教室）
- |          |     |     |     |
|----------|-----|-----|-----|
| 7月18日（水） | 1限目 | FG組 | 80名 |
| 7月19日（木） | 1限目 | DE組 | 80名 |
| //       | 2限目 | C組  | 41名 |
| //       | 3限目 | AB組 | 81名 |

### ●第3回

平成30年10月19日（金）11時45分～13時30分

1年生7クラス 280名 職員 19名

PTA役員 4名

#### ・実施内容

- アルファ化米の炊き出し・配膳訓練及び試食  
「津波に備える」「津波からにげる」DVD鑑賞  
3回を通じての講評

### ●紀伊コスモス支援学校防災スクールへの協力

平成30年12月10日（月）10時00分～12時00分

本校生徒会役員等 16名 職員 2名

#### ・実施内容

- 全体説明

アルファ化米の炊き出し・配膳  
段ボールパーティションの組立

## 事前の取組

### ●和歌山北高等学校北校舎高校生防災スクールに向けて

平成30年10月12日（金）13時00分～13時20分

生徒 14名（各クラス担当2名×7クラス） 職員 2名

#### ・実施内容

- アルファ化米についての説明と調理、配膳方法  
段ボールパーティション講習

平成30年11月19日（月）15時30分～17時00分

本校生徒会役員 8名 職員 1名

（県）教育委員会 健康体育課 指導主事 1名

#### ・実施内容

- 段ボールパーティションの組み立て講習

### ●紀伊コスモス支援学校についての研修

平成30年12月6日（木）15時30分～17時00分

本校生徒会役員 12名 職員 2名 紀伊コスモス支援学校職員 2名

#### ・実施内容

- 特別支援学校の生徒との接し方について

## 主なプログラム

### ●第1回

防災スクールの趣旨説明と避難経路の確認（グラウンド及び体育館）

（避難経路図（校内・校外）は、クラス、校内各所、職員室に常時掲示をし、当日各クラスで担任より事前説明を行った。）

- ・校内避難経路の確認（HR教室～グラウンド）
- ・防災スクールの趣旨、和歌山県の防災の状況
- ・校外避難経路の確認

（学校より避難先である平井中央公園までの約1200mを事前に職員が実際歩き、経路の様子をビデオ撮影したものを視聴し、その説明を行った。）

## ●第2回

### DVD鑑賞（視聴覚教室）

- ・津波防災啓発DVD「犠牲者”ゼロ”をめざして～巨大津波を生き抜く授業～」  
2クラスずつ視聴し、地震、津波さらに防災についての基礎的な学習を行った。また、最近の防災に関する情報を伝達した。



## ●第3回

### アルファ化米の炊き出し（食物教室）

### 配膳訓練（生物教室） 試食（HR教室）

- ・アルファ化米を湯で戻し、事前に説明を受けた担当の生徒、担当職員とPTA役員で、約300名分の配膳（パックつめ）を行った。パックの配付もスムーズに行うことができ、約10分で完了した。
- ・DVD鑑賞「津波に備える」「津波からにげる」（体育館）
- ・防災スクールの講評（体育館）



## ●紀伊コスモス支援学校防災スクールへの協力 段ボールパーティション作りとアルファ化米の炊き出し、配膳訓練、試食（体育館）

- ・本校生徒会役員がそれぞれの場所に分かれ、紀伊コスモス支援学校の生徒と協力して、段ボールパーティションの組み立て、解体、アルファ化米の炊き出し、配膳訓練を行った。



## 参加者感想文

（本校内の防災スクール）

- ・地震や津波が起こったときの対応についての理解ができた。
- ・地震のメカニズムや防災に関することをしっかり学び、実際起こったときに自分がどのように行動すべきかをイメージしておく必要があると感じた。

- ・校外避難経路は実際の経路の映像を見ながら説明を聞いたので、ある程度のイメージできた。
- ・アルファ化米は想像していた以上においしくいただくことができた。

（紀伊コスモス支援学校防災スクール）

- ・支援学校の生徒のみなさんと交流ができてよかった。
- ・支援学校の先生から支援学校のことや通う生徒のことなどを事前に説明をいただいたので、当日、楽しく過ごすことができた。
- ・段ボールパーティション作りは、事前講習を受けたので、支援学校のみんなと協力して行うことができた。
- ・実際、災害が起こり体育館内で段ボールパーティションの中での生活がどうなるのかを体験できた。

## 成果と課題

### 【成果】

地震や津波についての理解、防災の大切さについては深まった。アルファ化米の用意や避難経路についても意識が高まった。

今年もPTAの役員の方に、配膳活動に参加していただいた。

紀伊コスモス支援学校の防災スクールへの参加は、生徒が意欲的に参加できていることから来年度以降も続け、生徒の意識をさらに高めていきたい。

### 【課題】

今後、地域の方と一緒に防災について考えられるプログラムを考えていき、さらに地域の中の本校北校舎になっていかなければならない。